

## (一社)中国地域ニュービジネス協議会活動報告

### 5 月度業務報告

(一社) 中国地域ニュービジネス協議会  
山内

#### (I) 5 月度 主要イベント

- 5 月 17 日(金)、20 日(月)、広島支部催事開催
- 5 月 21 日(火)、備後支部催事開催
- 5 月 29 日(水)、SOERU 受賞者支援
- 5 月 29 日(水)、広島支部女性部会企画会議開催

#### (II) トピックス

##### (1) 広島支部催事(マツダからくり展見学会)

5 月 17 日(金)、20 日(月)の 2 日間に渡って、マツダ本社工場のご支援を受けて「マツダミュージアム見学」と「からくり改善くふう展視察」を開催しました。マツダ社内移動用の専用バスも手配して頂きました。中国 NBC 会員限定企画として 2 日間合計で 80 名(早期に定員に達しました!)の方にご参加頂きました。

「マツダミュージアム見学」では、マツダ車の歴史から初代クーペやファミリア等から最新の CX8 やロードスター、アテンザまで見る事ができて喜んで頂きました。

また「からくり改善くふう展視察」では、モノづくり工場で働く現場の方から商社・金融系の方まで幅広くご参加頂きました。参加者からは「自社内でも工夫や改善を行っているが、マツダ(関連会社含む)社員のからくりくふう展のレベルの高さに驚くとともに大変刺激になった」、「動力や重力だけでここまでのことができるのかと感心した」、「中国やタイの工場の方が目を輝かせながら自らのチームの工夫や改善を説明する熱意に感動した」、「ものづくりとはどんなものを改めて考えることができた」、「こういう活動を自分の会社社員にも浸透させていこう」、「来年はもっと社員を連れてきます」等ポジティブな感想ばかり頂きました。来年も開催します。

【マツダミュージアム見学】



【からくり展の様子1】



【からくり展の様子2】



##### (2) 備後支部催事(山采庵見学と来山理事講演会)

岡山女性部会中心に 20 名の参加があり、満員御礼の状況であった。備後支部の来山理事(ポエック社長)が所有されている別荘を利用させて頂き、来山理事のコレクションである千住博さんの絵画鑑賞や別荘周辺の眺望を堪能したのちに、講演を聞かせて頂いた。来山理事の

生い立ちから起業に至るまで、そして企業経営への思い、株式上場に対する熱意などについて語って頂いた。講演の中で、『ニュービジネス大賞を頂いたから、当社の現在があると思っております。そのため、NBC に少しでも恩返ししなければと思っております。』と、大変ありがたいお言葉を頂いた。また、ポケットマネーで出席者全員にお土産を頂きました。『出会う人を喜ばせたい』とおっしゃる理事の人柄が本当によく現れている講演会となりました。来山理事のような強力な支援者を増やすことが事務局の使命だと思っております。

【来山理事の講演会 その1】 【来山理事の講演会 その2】 【山采庵庭園からの眺望】



### (3) 中国 NBC 定時総会準備

中国 NBC30 年の歴史の中で、初めての広島市以外での総会開催であり、しかも事務局メンバー9 名の内 4 名が総会初経験の状況であり、事務局長が音頭を取って慎重に準備を進めた。山口支部の理事の皆様にご厚いご支援を頂き、山口らしさの演出をたくさん織り込んで頂いた。通常の総会、NB 大賞表彰式に加えて、錦帯橋の見える河原での岩国藩鉄砲隊の演武、交流会でのアトラクション(岩国寿司作りの実演など)、交流会後の錦川でのう飼い遊覧など盛りだくさんの企画を入れた。藤麻副会長、井上理事からはアトラクション用に商品をご提供頂いた。後は、オペレーションで粗相がないように、人の配置や動線を時間の流れと共に確認した。過去の総会の反省記録が残っており、反省が次年度の総会に織り込まれる PDCA パターンが定着しつつある。

岩国市でどれくらいの方が集まるか心配していたが、総会 150 名、NB 大賞表彰式 190 名、交流会 150 名と、ほぼ想定通りの集客もできた。う飼い遊覧 50 名は想定の倍近く集まった。また、受付の人が足りないので寺園支部長より二名、受付要員を出して頂けることになった。山口支部の理事の方々のご支援、ご協力に深く感謝しております。

### (4) その他

#### ① 中国地域女性ビジネスプランコンテスト(SOERU)サポーター、協賛金募集活動開始

今期は国からの補助が全額から半額になるので、規模の縮小と協賛金の積極的なお願いをして回ることを主催 4 団体で合意した。経産局さんは協賛金については動けないので、実質、中経連、日本政策投資銀行(DBJ)と我々の 3 団体が協賛金を集めることになる。前回会議で目標額一団体 100 万円と筆者が意気込みだけの軽率な発言をしたので、中経連さんより 100 万円の裏付けを示すように依頼された。SOERU 開催費用のみを正確に見積もると、主催団体の例年の分担金各 40 万円を前提にして、全体で 75 万円弱が不足となりこれを協賛金で補う必要がある事を説明した。中経連、DBJ さんともこの数字が妥当な額であり、最悪協賛金が集まらなくても、既に確保している予算でサポートできる金額であることをご確認頂いた。

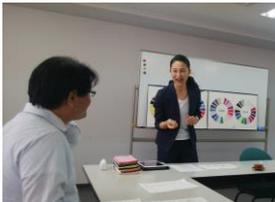
#### ② 中国NBC人事異動

山口 FG から派遣されていた萬城さんの後任について正式な通知があった。下関本社の人事管理グループからグループ長がご来訪され、後任の方をご紹介頂いた。もみじ銀行小倉支店から黒田祐介さん 28 歳が出向して来られることが決定した。萬城さんは本店（下関）で新規事業の開発に従事される。両名とも 6 月 4 日の定時総会の参加についてお許しを頂いた。総会は一年に一度しかない弊協議会の活動が最も良く分かる催事なので、大変ありがたい決断である。細川会長の強力なご支援のおかげである。

### ③ SOERU 受賞者(Tint Color)支援

第 2 回 SOERU ファイナリストの Tint Color 田丸代表から支援要請があり引き受けた。佐々木広島支部長のご厚意でオタフクホールディングさんに田丸代表が講習の売り込みを行った結果、担当の人事グループマネージャに講習の状況を見せてから決断したいとご要望が出た。講習の受講状況の視察について許可してくれる事業者が無く、中国 NBC 事務局有志で模擬講習会を引き受けた。自分が心の中に持っているセルフイメージと実際の外見を一致させて、従業員のモチベーションを引き出す講座である。この支援の結果、オタフクホールディングさんは、Wood Egg お好み焼き館の案内係の女性に受講させることが決定した。

【模擬講習会様子 1】



【模擬講習会様 2】



【模擬講習会様子 3】



### (5) 5 月度雑感

弊協議会で仕事させて頂いて丸 5 年が経過しました。催事等で、弊協議会の役員の皆様や会員企業の経営者の皆様の講演を聞かせて頂く機会が良くあります。共通しているのは、まずは自分の利益よりも相手の利益(欲するところ)を与えようという姿勢。山口 FG の吉村社長や京セラの稲森和夫さんは『利他』という言葉が使われています。ニュービジネスを起こしたい人に加えて、意欲のある経営者を応援したい人、地域を元気にしたい人、そういう方を選んで今後も入会勧誘を勧めて参ります。

以上